

# ルールを守って飼いましょう

飼い主は動物の習性を正しく理解し、愛情と責任をもって飼いましょう  
飼い主のもしもの場合に備え、代わりに飼ってくれる人を決めておきましょう

## 犬を飼う際に守ること

### ① 登録手続き (登録手数料 3,000円；一生に一回)

**必ず**犬の登録手続きをしてください。

各区くらし応援室、支所、市民の窓口で登録し、鑑札の交付を受けることができます。一部の病院では鑑札交付の手続きもしています。

登録は  
一生に1回



### ② 狂犬病予防注射 (注射済票交付手数料550円〈注射料金は別〉)

毎年1回(4/1~6/30の間)、**必ず**狂犬病予防注射を受けましょう。

集合注射会場または動物病院で接種できます。

動物病院で接種したときは、各区くらし応援室、支所、市民の窓口で注射済票交付の手続きをしてください。

一部の病院では注射済票交付の手続きもしています。

注射は  
1年に1回



### ③ 鑑札、注射済票で飼い主がわかるように!

首輪に鑑札と注射済票を必ず着けましょう。

マイクロチップや迷子札も有効です。

マイクロチップは登録機関で情報登録、変更をお忘れなく!

犬鑑札  
第00000号  
さいたま市



### ④ 放し飼い禁止!散歩はルールを守って!

散歩の際には、リード等をつなぎ、事故を防止しましょう。公園や道路等公共の場での放し飼いはできません。

万が一、人を咬んでしまった場合は届出が必要です。

フンやオシッコはなるべく家で済ませ、屋外に連れ出すときは、処理するための用具を必ず携行するなど、周辺にお住まいの人が気持ちよく過ごせるようマナーを守り、生活環境の保全に努めましょう。



オスワリ、  
マテ、フセから  
始めよう



### ⑤ 近隣に迷惑をかけない飼い方を!

鳴き声や臭い・毛などで、近隣に迷惑をかけることなく、人と犬が地域と共に過ごせるよう、責任をもって飼いましょう。

迷惑を防止するために、適切なしつけや訓練をしましょう。



# 猫は屋内で飼いましょう



## ① 猫は屋内飼養が基本です

放し飼いの猫は事故や病気の危険性がたくさんあります。  
 外で交尾をして子猫が増えてしまうかもしれません。  
 近所の庭でフン尿をしたり、爪で車を傷つけたりすることもあります。  
 猫が嫌いな人、苦手な人、アレルギーのある人がいます。  
 近隣への配慮を怠らないようにしましょう。

家の中  
 だけで、幸せに  
 暮らせます。



交通事故



病気をもらってくる  
可能性も



近隣へのご迷惑



## ② 所有者明示(迷子札)をしてください

迷子札やマイクロチップにより、飼い主がわかるようにしましょう。  
 万が一、あなたの大切な猫が逃げた場合に役立ちます。  
 マイクロチップは登録機関で情報登録、変更をお忘れなく!



## ③ 必ず去勢・不妊手術をしましょう

猫はとても繁殖力のある動物。数が増えないよう去勢・不妊手術をしましょう。  
 手術で発情によるトラブルを防いだり、感染症や一部のガンなどの病気を防いだりする効果があります。

生後  
 約6ヶ月で成熟。  
 8歳まで産むとして、  
 42匹から多いと  
 140匹を出産!!!  
 発情期は  
 年3~4回、  
 1回に2~5匹  
 出産。



## ④ 野外で無責任に餌を与えることは、やめましょう

集まった猫のフンやいたずらで迷惑を受けている人が大勢います。  
 野外で生まれた子猫が不幸な死に方をしています。  
 餌をあげるなら、後片づけやフン尿の始末、去勢・不妊手術をしましょう。  
 責任を持って屋内で飼育するなど、近隣への理解が得られるようにしましょう。



🐾 ペットは命あるものです。愛情をもって扱い、一生面倒をみましょう。  
 必要な運動、給餌・給水、病気や怪我の治療予防により、その健康を守りましょう。

🐾 動物を捨てるのは犯罪です。

飼いきれなくなった動物、生まれた子猫を捨てることは「遺棄」という犯罪です。  
 飼い主の責任で最後まで飼うか、貰い手を探しましょう。

🐾 飼い主の知らないうちに動物が迷惑をかけていませんか?  
 周りの皆様への一層の配慮をお願いします。

